

日本共産党議員団が浜田市長に要望

新年度予算で暮らしを守る緊急施策を

12月4日、日本共産党議員団3名は市長室を訪ね、毎年行なっている新年度予算についての要望書と、「子どものいる世帯などに国民健康保険証の即時交付を求める要望書」を浜田博市長に提出しました。

新年度予算について毎年要望

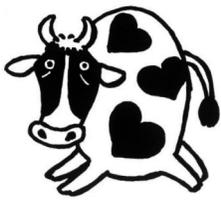
1. 経済危機の最大の犠牲者である低所得者の暮らしと福祉を守るため、緊急施策を講ずること。
2. 中小零細業者や地域産業を支援し、地域経済を下からあためる対策を重視すること。
3. 別府観光再生のため

めには、豊かな温泉や自然、別府独自の歴史や文化、温かい人情など、別府本来の宝をいかした魅力あるまちづくりをすすめること。

この3点を基本に、各分野別に要望事項を整理し、要望しました。

新年も
よろしくお願
いし
ます

例年になくきびしい
年末年始となりました。
命と暮らしを守るため



平野議員団長は「来年度予算で市長の英断を期待している」と国保税の引き下げを求め、えんど久子市議は「4

野田市議も療養病床の削減問題などで、現場の声を紹介し要望しました。

年間で23億以上も交付税が削減され、地方自治体も国からいじめられていく。市民の命と暮らしを守るため、市も我々も一緒に頑張って国に声を上げていかなければならない」と話しました。

「努力したい」と市長が回答

浜田博市長は、「経済危機に対して、福祉を守るためにどういうことができるか。申し入れの観点については私も同じなので、努力をさせていたきたい。闘う市長会にな

ろうと市長会で話をし、国に要望している。医療政策も国保の問題もどうするのか、市長会で話をした。私なりに努力したい」と述べました。

えんど久子HPをご覧ください。
<http://www.happyendo.net/>
または名前で検索できます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.366
2008.12.22.

全国学力テスト

結果公表の方向と答弁

公表ではなく教員増こそ必要

12月11日の市議会一般質問で猿渡（えんど）久子市議は、全国学力テストの結果を公表しないよう強く求めました。

朝日新聞などほとんどの社説でも「全国学力調査にかかる60億円はもつと有効に」などと批判されていることを紹介し、「子どもたちの中に新たな差別を生むことにもつ

ながりかねない。塩谷文科相が各地の公表について『実施要項に反している』『遺憾であり全くのルール違反』と答弁している。学力向上には教員を増やすこそ必要。公表すべきでないと考え

るかどうか」と、市教委の見解を質しました。

「段階的に慎重に」と答弁

市教委は「保護者や地域住民に説明責任を果たす上

で重要と考えるが、段階を踏んで慎重に行なわれなければならぬと考えている。公表する場合には、子ども

の人権にかかわったり、過度な競争や序列化につながりせず効果的な公表になるよう、特段の配慮が必要」と答弁しました。



自民党議員が公表を強く求める

しかし、えんど市議の次に質問した自民党議員団の野口哲男議員は

「公表がなければ大分の教育の改革はあり得ない」などと、公表するよう強く求めました。

市教委は「公表の方向」「公表をしつかり受け入れるような土壌を作り公

表へ」と答弁しました。野口議員の質問に、自

民議員から応援のヤジが口々にありました。公表しないよう市民世論を強めましょう。40数年前にも、結果公表による弊害が大きく世論で中止になっています。

「いきいきプラン時間増」も答弁

また、えんど市議は、障害を持つ子どもなどのため、市が独自で配置している「いきいきプラン」

の先生の充実を求めました。これまでも再三要求してききましたが、市教委より「新年度に向け勤務時間を一人あたり147時間増やすよう予算要求

している「いきいきプラン」の先生の充実を求めました。これまでも再三要求してききましたが、市教委より「新年度に向け勤務時間を一人あたり147時間増やすよう予算要求

している」と答弁がありました。さらに、生活保護の入学準備金を立て替えずにすむように求めたことに対し、社会福祉課長は「改善に向けて準備を進めている」と答弁がありました。

